

生活協同組合連合会 東海コープ事業連合 桑名物流センター



所在地：三重県桑名市大字能部字花貝戸490
 建築面積：約6,237㎡
 延床面積：約9,537㎡
 構造・規模：鉄骨造、地上2階建
 照明改修施工：いとう工務店
 照明改修完成：平成23年9月

S142

環境負荷の軽減を経営方針の中に掲げる東海コープ事業連合は、桑名物流センターの労働環境改善に向け施設の改修工事を行うとともに作業場の照明をLEDに更新し、大幅な省エネ・CO₂排出量の削減を実現しました。

組合員に食の安全・安心を届ける物流センターの照明をLEDに更新

東海コープ事業連合は、平成6年にコープぎふ・コープあいち・コープみえを会員生協とする、事業連帯組織として設立されました。

共同購入および店舗事業の商品企画・開発、仕入・物流・受発注サービス、商品管理などにおいて、組合員の声と要望の実現を目指すとともに、環境負荷の軽減にも取り組んでいます。桑名物流センターでは、労働環境の改善のために施設の改修工事を行うとともに、作業場の照明をLEDに更新して大幅な省エネとCO₂排出量の削減を実現しています。

110W蛍光灯2灯用器具から直管形LEDランプシステム器具に更新し、年間省エネ率54%を実現

1階には入・出荷エリアをはじめ、原料補給エリア、集品室などが配されています。これらのエリアの照明は、既存では110W蛍光灯2灯用直付器具が使用されていましたが、環境負荷低減への対策および労働環境改善の一環として、長寿命で高い環境性能をもつ、直管形LEDランプベースライト直付器具（消費電力56W、全光束4,640lm）の反射笠形が入・出荷エリアに、逆富士形が原料補給エリアや集品室にと、それぞれ更新されました。高演色タイプの使用で商品の品質も見分けやすく、器具ピッチは2.8mを基本にして平均照度300lxを確保。商品が集中する集品ラインシステムや集品棚が配置されているエリアでは、器具ピッチを狭くして明るさを高め、商品を見やすく、手さばきしやすい照明環境としています。

また、この直管形LEDランプベースライトは、一般的なLEDベースライトに対し、ランプ交換を可能とし、簡易脱着式によりメンテナンスの効率化が図れるほか、感電防止、誤挿入防止など、日本電球工業会規格JEL801に適合した安全性の高い器具となっています。

これにより、既存照明器具と比較として、年間省エネ率54%、年間CO₂排出量29,381kg削減を可能にしています。



入・出荷エリア方向から奥の原料補給エリア・集品室の照明を望む 直管形LEDベースライト直付形逆富士器具を設置



集品室方向から入・出荷エリアのLED照明を望む



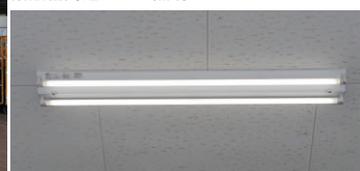
集品システム周辺のLED照明



集品棚周辺のLED照明



LED照明に更新した入・出荷エリア



直管形LEDベースライト直付形逆富士器具

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	直管形LEDベースライト直付形逆富士器具	LEDT-42307-LDJ	191	LED 消費電力:56W
	直管形LEDベースライト直付形反射笠器具	LEDT-42107N-LDJ	76	LED 消費電力:56W
	LEDダウンライト500シリーズ	LEDD-66007MW-LD1	19	LED 消費電力:7.6W
	LEDダウンライト900シリーズ	LEDD-70007FW-LD9	15	LED 消費電力:13.7W